

日本フランス語フランス文学会東北支部大会
総会記録

議長：翠川 博之

阿部宏支部長より、支部規約（配布資料3）第9条の①に基づき、運営委員会から議長に翠川博之氏を指名した。

※翠川博之議長より、議事に入る前に、配布資料には、

- ・総会次第
- ・昨年（2016）度の総会記録
- ・資料1：（研究情報委員会から）書評対象本推薦のお願い
- ・資料2：東北支部会員名簿
- ・資料3：東北支部規約
- ・資料4：東北支部 役員任期一覧
- ・資料5：支部のみ会員の入会規定（案）

が含まれていることを確認した。昨年度の総会記録について気づいた点があれば、随時受け付ける旨を告げて議事に入った。

I 報告事項

1 各種委員会報告

1)役員会：阿部宏支部長
幹事会報告と同。

2)幹事会：今井勉支部代表幹事

2017年10月1日、日仏会館にて開催。主な報告事項と協議事項は以下の通り。

[報告事項]

- ・一般会務について田上幹事長より、会員数（1128名→前年度比7名減）報告があり、2017年度の未入金者が350名と多い点について懸念が示され、将来的に対策が必要になるかもしれないとの発言があった。
- ・各支部代表幹事から各支部の会員数状況や開催行事の報告があった。
- ・各種委員会報告では、①学会誌編集委員会の白井委員長より、合本の定価については前例に倣い二倍としたこと、『LITTERA』について今後十分な量の原稿を集める工夫が必要の旨発言があった。②渉外委員会の田中委員長より、『LITTERA』掲載を前提としたシンポジウムでは共催は不可能かとの問いがあり、鈴木前幹事長より原則学会主催である旨の確認があった。③語学教育、④研究情報、⑤広報については特に大きな問題事項はなかった。
- ・大会準備状況の報告およびスケジュール日程等の確認があった。
- ・庶務・広報について担当幹事の東氏よりHPに学会長メッセージを掲載したこと、J-STAGEに最近の学会誌110号まで、『LITTERA』2号までを掲載し、バックナンバー（学会誌1号～98号）について

ては三美印刷に業務委託しているとの報告があった。

〔協議事項〕

- ・名誉会員として柏木隆雄前会長を推薦することが決定された。
- ・学会誌編集委員会部会の改組・改称（20世紀部会を20・21世紀部会とする案、思想部会や表象部会を設ける案等）について、学会誌編集委員会で継続審議となった（名古屋大学でのプログラムでは「思想」の部〔ルソー1件、ベルクソン1件、フーコー2件〕が設定されたが、プログラムはあくまでも開催校の専権事項であり、編集委員会内の部会との対応関係はないとの確認が鈴木前幹事長および白井編集委員会委員長からあった）。
- ・学会誌バックナンバーの在庫処分について、特に最近の102号以降400部以上の在庫があり、今後印刷部数の低減を検討するなどの点について常任幹事会に一任することとなった。
- ・2019年度春季の全国大会開催校は成城大学とすることが了承された。

3) 支部運営委員会：阿部宏支部長

9月23日に、東北大学で支部運営委員会を開催した。ここで、運営委員会が推薦する新支部長候補、新語学教育委員候補、支部会議長候補、支部会報・冊子体の来年度の刊行、次々回支部会の岩手での開催をそれぞれ決定した。また、メーリングリストの復旧、北海道支部会報との関係について意見交換を行った。

4) 渉外委員会：合田陽祐委員

さる2017年10月28日(土)に、日本フランス語フランス文学会秋季大会（於名古屋大学東山キャンパス）の開催に際し、渉外委員会が開かれた。委員の入れ替えに伴い、渉外委員会の業務をまとめた覚え書きが配布され、各委員による確認がなされた。審議事項としては、シンポジウムの支援1件について話し合いがもたれた。審議の結果、2018年5月13日に開催されるシンポジウム「*Voyages, traversées de langues --- Fabrique de la littérature avec Pascal Quignard*」／「旅、ことばからことばへ —— パスカル・キニャールと文学のアトリエ」を、*Littera* 第4号（2019年3月刊行予定）掲載を前提とする学会主催のシンポジウムとして支援することが決定した。

5) 広報委員会：寺本成彦委員

- ・春季：6月3日に東京大学（駒場）で開催され、委員長、副委員長ともに改選された。議案は、業務分担、学会ニュースの編集、ホームページ更新についてであった。
- ・秋季：委員会は開催されなかった。

6) 語学教育委員会：間瀬幸江委員

- ・春季：2017年6月3日、東京大学にて開催された。
 - 議題1 委員長・副委員長の選出 委員長、副委員長ともに新たに選任された。
 - 委員長：滝沢明子（共立女子大学）
 - 副委員長：間瀬幸江（宮城学院女子大学）
 - 議題2 2017年国内スタージュについて（報告）
 - 議題3 委員の任期に関する内規改正について（案）
 - 議題4 語学教育委員会の今後の活動について（案）
- ・秋季：委員会は開催されなかった。

7)研究情報委員会：寺本弘子委員

・cahierの編集・発行：冊子版cahier第19号（3月31日付）とcahier第20号（9月1日付）を刊行し、それぞれのPDF版をsite web cahierの「cahier」にて公開した。

現在、cahier第21号の刊行（2018年3月下旬の予定）に向け、原稿を依頼中である。

・cahier電子版のコンテンツ充実：cahier電子版の「書評コーナー」に春季と秋季にそれぞれ自著紹介を1件ずつ掲載した。「研究レビュー」については、今後、3～4件程度のレビューの執筆を依頼する予定である。また、新たなコンテンツとして、「エッセー」の早期開設を目指すことを確認した。

※書評対象本推薦のお願い→別紙資料1

8)学会のあり方検討委員会：山崎冬太委員

この1年間、学会執行部からの諮問がなかったため、委員会は開催されなかった。

9)監査：阿部宏慈監査役・大谷尚文監査役

事務局から東北支部の会計に関する書類が送られ、収入・支出とも適切に会計処理が行われていることを確認した。

2 支部会誌編集委員会報告：寺本成彦運営委員〔支部会誌担当〕

2017年5月19日付で支部会報「Nord-Est」第10号web版を発行し、前任者からの引継ぎを完了した。編集委員の方々、ご協力いただいた先生方に御礼申し上げます。今後は本日の支部会大会の発表、シンポジウムに基づき第11号web版を発行し、その後、第9号・10号・11号合併号を冊子体として出版する。関係する皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

3 支部会員の登録状況：阿部いそみ 運営委員〔総務担当〕

資料2の通り、本年（2017）度の支部会名簿を作成した。会員数は、普通会员42名、学生会員6名の計48名である。

4 その他

翠川博之議長より他に報告事項の有無を確認したが、なかった。

II 協議事項

1 役員を選出について

1)役員に関する支部規約の確認

翠川博之議長より、資料3に基づき、支部規約第6条及び運営細則第1条&第2条を確認した。

（今回選出される役員の任期は、2018年春季全国大会時の総会翌日から始まる）

2)役員及び任期の確認

阿部いそみ運営委員より、資料4（役員任期一覧）に基づき、役員の任期を確認するとともに、「支

部長」と「語学教育委員」を選出する必要の旨、確認した。

3) 支部長の選出：

翠川博之議長より、運営細則第1条⑤に基づき会員へ立候補を求めたが、立候補者がいなかった。続いて運営細則第1条④により運営委員会へ推薦を求め、阿部宏支部長から、熊本哲也氏（岩手県立大学）が推薦され、運営委員会からの推薦者 熊本哲也氏を支部長とする旨、宣言した。

4) 語学教育委員の選出：

翠川博之議長より、運営細則第1条⑨に基づき運営委員会へ推薦を求め、阿部宏支部長より、間瀬幸江氏の推薦があり間瀬幸江氏が再選された。

2 支部のみ会員の入会規定について（案）

阿部宏支部長から、資料5に基づき、支部のみ会員の入会規定について提案され、質疑を経て提案どおり認められた。

3 次期開催校について

阿部宏支部長から、2018年度は岩手県の大学による共催の提案があり、承認された。続いて、岩手県立大学の熊本哲也氏より、次期開催にあたって、代表の挨拶があった。

4 その他

他に議題の有無を確認したが、なかったため、総会終了が宣言され閉会となった。